

みのり高等学校 通信教育実施計画書

教科・科目	必履修	単位数	教科書	副教材
地理探究		4	東京書籍「地理探究」	DVD-ROM「地理探究」
評価方法	添削指導(計12回)、試験(年2回)、面接指導(年4回)での評価			

指導目標

- ① 地球的な視野から地理的事象の空間的な規則性、傾向性や関連する課題の発生要因を捉える学習を通して、現代世界の諸事象の地理的認識を深めるとともに、系統地理的な考察方法を身に付けます。
- ② ①をふまえ、選択した地域の特性とそこで発生する諸課題について捉える学習を通して、現代世界の諸地域の地理的認識を深めるとともに、地誌的な考察方法を身に付けます

〔評価の観点〕

- 【主体性】知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うようとしている。
- 【知識・技能】世界諸地域の特性とそこで発生する諸課題について理解することで、現代世界の諸地域についての地理的認識を深めている。
- 【思考・判断・表現力】地理的事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画(実施内容)
第1回 提出期限 5月15日	第1編 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境 1節 世界の地形 2節 気候と自然環境	2)プレート運動とさまざまな境界 3)変動帯の地形 5)河川がつくる地形 6)海岸と海にみられる地形 1)気候の見方 2)大気大循環と気候 4)世界の植生・土壌	・大地形と小地形について ・気候要素と気候因子について ・大気の大循環について ・各気候帯と植生や土壌との対応関係について
第2回 提出期限 6月16日	3節 気候と人々の生活 4節 日本の自然環境と自然災害	1)ケッペンの気候区分 2)熱帯の特徴と人々の生活 3)乾燥帯の特徴と人々の生活 4)温帯の特徴と人々の生活 6)亜寒帯(冷帯)の特徴、生活 1)日本の地形と自然災害 2)日本の気候と自然災害	
第3回 提出期限 6月16日	5節 世界の環境問題 第2章 産業と資源 1節 産業の発展と社会的分業 2節 農林水産業 3節 食料問題	1)地球規模の環境問題 2)地球温暖化の背景と影響 1)産業の変遷 2)産業構造と地域構造 1)農業の立地と形態 5)世界の林業・水産業 6)日本の農林水産業 1)食料問題の背景と地域性 3)日本の食料問題	・地球規模の環境問題と解決に向けての取り組み ・産業の高度化とその社会的背景について ・農業の成立・発展過程とその社会的背景について ・日本の農林水産業の変化について ・食料問題の地域的相違について ・日本の食糧問題について
第4回 提出期限 7月15日	4節 エネルギーと鉱産資源 5節 資源・エネルギー問題 6節 工業の立地と工業地域の変容 7節 第三次産業	1)世界のエネルギー資源 3)日本の資源・エネルギー問題 1)工業の立地と工業地域 2)繊維・鉄鋼・石油化学 3)自動車・エレクトロニクス 7)日本の工業とその変容 1)サービス経済化の進展と流通産業の発達 2)情報通信業とその集積	

■前期単位認定試験【7月】(3年)
■前期単位認定試験【9月】(1,2年)

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画(実施内容)
第5回 提出期限 7月15日	第3章 交通・通信、貿易、観光 1節 交通・通信 2節 貿易と経済連携 3節 観光 第4章 人口、村落・都市 1節 人口 2節 人口問題 3節 村落・都市	1)交通の発達 3)情報通信技術の発達 1)貿易の自由化と経済連携 1)観光の発達と地理的展開 1)世界の人口分布と人口増加 2)人口動態と人口ピラミッド 1)発展途上国の人口問題 2)先進国の人口問題 1)村落の機能と形態 2)都市の機能と都市システム	・流通、情報通信業の発達について ・観光産業発達の背景と動向について ・人口分布と人口動態について ・途上国、先進国の人口問題について ・村落の機能と立地要因、形態の特徴について ・都市システムが形成される背景について
第6回 提出期限 8月15日	4節 居住・都市問題 第5章 文化、民族・宗教 1節 生活文化の地域性 2節 民族・言語・宗教 3節 民族問題 4節 現代の国家と領土問題	1)発展途上国の居住・都市問題 2)先進国の居住・都市問題 3)日本の居住・都市問題 1)文化と環境 2)世界の宗教 1)世界の多様な民族問題 2)紛争と難民 2)領土問題	・途上国、先進国の都市問題について ・各地域の文化形成と変容過程について ・民族問題の背景について ・民族紛争や難民問題について ・領土問題について ■前期単位認定試験【7月】(3年) ■前期単位認定試験【9月】(1,2年)
第7回 提出期限 10月15日	第2編 現代世界の地誌的考察 第1章 現代世界の地域区分 1節 地域区分の意義と方法 第2章 現代世界の諸地域 1節 東アジア 2節 東南アジア	1)地域区分の意義 1)中国の改革開放と急速に進む工業化 2)中国の農業・農村の近代化と都市化 5)韓国の経済成長と地域構造 6)韓国の都市・農村の変化 1)東南アジアの多様な文化 2)東南アジアの地域性と農業 3)ASEANの政治と経済発展	・地域区分のための地誌的な考察方法について ・諸地域の現況と課題について (中国、韓国) ・東南アジアの文化の多様性や共通性について ・東南アジアの地域性の特徴について ・ASEANの協働体制の特徴と工業化の動向について
第8回 提出期限 11月14日	3節 南アジア 4節 西アジアと中央アジア 5節 北アフリカとサハラ以南 アフリカ 6節 ヨーロッパ	1)グローバル化と南アジアの経済発展 2)大都市の形成と格差の問題 2)乾燥地の生活文化と宗教 3)資源開発にみられる二つの地域の違い 1)多様な文化の成り立ち 2)モノカルチャー経済の課題 1)ヨーロッパ統合の流れ 2)ヨーロッパの農業とその変容 3)ヨーロッパの産業とその変容 4)EUの拡大と地域格差	・南アジアにおける経済自由化や産業開発、工業化の進展について ・ヨーロッパ統合が進む背景について ・EUの共通農業政策の特徴と課題について ・工業の多極化、サービス経済化について ・EUの拡大と地域格差について ・イギリスのEU離脱について
第9回 提出期限	7節 ロシア 8節 アングロアメリカ 9節 ラテンアメリカ 10節 オセアニア 第3編 現代世界と日本の国土像 第1章 持続可能な国土像の探究 1節 日本の地理的諸課題を	1)多様な民族と宗教 2)ポスト社会主義時代の暮らし 1)アングロアメリカの農業 1)ラテンアメリカの成り立ち 3)森林破壊などの問題 1)多文化共生の課題 2)オセアニアの資源と産業 3)オセアニアと他地域との結び付き 1)日本の地域構造 2)日本の国土政策	・ロシアの現況と課題について ・アングロアメリカの自然環境の多様性とそれによって形成される農業地帯の特色について ・オーストラリアとニュージーランドの多文化社会の形成過程について ・日本の地域構造の歴史的変遷について ・日本の国土政策の歴史的変遷について

11月14日	読み解く		
第10回	◆振り返り学習(まとめ)① 第1編 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境 第2章 産業と資源① 提出期限 12月15日	・プレート運動とさまざまな境界 ・変動帯、河川、海岸と海の地形 ・気候の見方 ・ケッペンの気候区分 ・日本の地形・気候と自然災害 ・地球規模の環境問題 ・産業構造と地域構造 ・世界の林業・水産業 ・日本の農林水産業 ・食料問題の背景と地域性	・気候要素と気候因子について ・各気候帯と植生や土壌との対応関係について ・ケッペンの気候区分について ・各気候区の特徴と生活・文化について ・日本の地形、気候の特色と自然災害について ・地球規模の環境問題と解決に向けての取り組み ・産業の高度化とその社会的背景について ・農業の成立・発展過程とその社会的背景について ・日本の農林水産業の変化について ・食料問題の地域的相違について
第11回	◆振り返り学習(まとめ)② 第2章 産業と資源② 第3章 交通・通信、貿易、観光 第4章 人口、村落・都市 提出期限 12月15日 第5章 文化、民族・宗教	・世界のエネルギー資源 ・日本の資源・エネルギー問題 ・工業の立地と工業地域 ・交通の発達 ・貿易の自由化と経済連携 ・観光の発達と地理的展開 ・世界の人口分布と人口増加 ・発展途上国の居住・都市問題 ・先進国の居住・都市問題 ・世界の宗教	・エネルギー資源の偏在性とその課題について ・日本の資源、エネルギー問題について ・高度経済成長期から現在に至るまでの日本の工業の変遷について ・流通、情報通信業の発達について ・観光産業発達の背景と動向について ・人口分布と人口動態について ・途上国、先進国の都市問題について ・民族問題の背景について ・民族紛争や難民問題について
第12回	◆振り返り学習(まとめ)③ 第2編 現代世界の地誌的考察 第1章 現代世界の地域区分 第2章 現代世界の諸地域 第3編 現代世界と日本の国土像 提出期限 1月15日	・地域区分の意義 ・多文化共生の課題 ・日本の地域構造 ・日本の国土政策	・地域区分のための地誌的な考察方法について ・諸地域の現況と課題について ・日本の地域構造の歴史的変遷について ・日本の国土政策の歴史的変遷について ■後期単位認定試験【12月】(3年) ■後期単位認定試験【1月下旬～2月上旬】(1,2年)